

請 願 文 書 表

(総合企画局)

受理番号	23	受理年月日	令和5年11月28日
件名	北陸新幹線延伸計画に係るボーリング調査結果の公表等		
要旨	<p>京都市として北陸新幹線京都延伸計画の誘致を推進している限り、国と独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下「機構」という。）のことだから知らないことだとは言えない。市民の生活環境や営業、京都の自然環境等に甚大な悪影響が危惧されることから、これらを未然に防ぐことは、京都市としての当然の役割である。国や機構から聞いているのに市民に内緒なら言語道断であり、聞いていないのであれば、市民の暮らしや環境を守るために問いただして市民にも明らかにすることが当然である。私の住む南区山王学区は京都駅八条口に面し、また、駅前にある山王小学校校庭は今回ボーリング調査箇所にもなっている。南区では現東海道新幹線に協力し、立ち退きになった方もいる。区民、とりわけ学区民にとって、新駅の場所や規模、態様等、さらに線路の位置等に重大な関心があって当然であり、京都市はこの危惧に応える責務がある。</p> <p>については、北陸新幹線京都延伸計画について、国土交通省及び機構に照会し、市長として以下の項目について明らかにすることを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5年前の南区上鳥羽公園などにおける前回ボーリング調査の結果を明らかにすること。 今夏の市内7か所の調査は、前回調査のどういう評価と総括のうえでの実施なのか。今回の箇所選定の理由、根拠、位置付け、目的とその結果活用の方角について、前回調査との関連において明らかにすること。進路が想定されたうえでの箇所選定なのか、それとも調査結果に基づいて進路を決めていくのか。ならば、改めて箇所選定の根拠は何か。勧修寺公園も含めて明らかにすること。また、その結果分析がどのように進路を決める判断材料になっていくのかについても明らかにすること。 機構によると、北陸新幹線京都駅は現京都駅付近にとのことであるが、南・下京区内計3か所の今回調査箇所は、新駅の位置や方向、深さ等を想定したうえでの箇所選定なのか。それとも、調査結果に基づいて新駅の位置等が検討されていくのなら、何を明らかにし、どういう判断材料を得るための調査なのか明らかにすること。 新駅が現京都駅付近なら、線路の南区内通過は避けられない。立ち退きや補償の問題、また、40メートル以深ならば（憲法上、大深度法については疑義があるが）、区民の生活の直下を勝手に掘り進めていく問題など、区民の生活環境に重大な悪影響が及ぶことは必至である（東京では、地上の陥没や住宅の傾斜等が大問題となっていることは周知のとおりである）。南区民の住、生活、営業等環境への影響についての認識はいかがか。 		
請願者			
紹介議員	赤阪 仁、加藤 あい、山田こうじ		
付託委員会	総務消防委員会		